

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和3年度～令和7年度）
研究開発課題名	高分解能X線計測と高感度蛍光計測を併用した薬物動態と薬効の評価技術開発
代表機関名	東北大学
研究開発代表者名	権田 幸祐

総合評価：優れている

【評価コメント】

本研究は、金ナノ粒子を抗がん剤や腫瘍関連免疫細胞の標識剤、さらには血管造影剤として活用する手法を開発した点が評価できる。また、本研究成果を用いて、がん関連細胞の病態解析や薬物取り込み能解析等の技術開発を推進し、抗がん剤開発における本技術の有用性を実証した。さらに、課題間連携においては、各研究課題で必要とされる解析データを提供することで、それらの研究開発の推進に貢献した。

今後は、本研究成果をさらに深化・発展させ、がん以外の疾患領域への応用展開も含め、本技術の汎用性をより明確に示していくことを望む。さらに、多様なモダリティ開発やDDS 研究に広く活用される技術基盤として確立し、創薬研究の支援に資するイメージング技術へと発展させることを期待する。

以上